

益田未来協働フェスタ 科学チャレンジ レギュレーション発表
中学生・高校生科学チャレンジ 7月9日

おめでとうございます。益田未来協働フェスタ科学チャレンジのレギュレーションを発表します。

2022年度のテーマは、昨年度に引き続き『**バッチリ当てよう**』です。

(1) 競技作品のレギュレーションは次の通りとします。

- ① 素材はダンボール紙のみ。厚さは問いません。プラスチック素材等の特殊なダンボール紙は不可です。
- ② 接着剤は、ノリ、セロテープやガムテープ等、何でも可能です。
- ③ 大きさは、1辺40cmの立方体の中に入るもの。

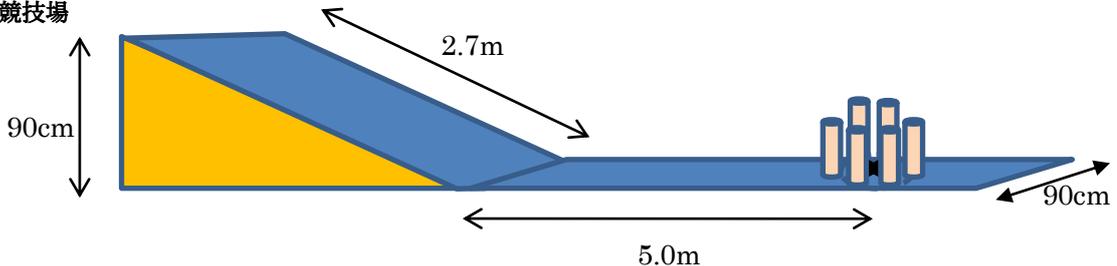
(2) 競技作品の数は、1チーム1作品(各学校からのチーム数は参加校数に応じて調整します)とし、競技回数はボウリング形式の2回です。1回目の競技後の状態のまま、2回目の競技を行い合計得点で競います。

(3) 競技場とその規格は次の通りです。

- ① 図1のように、高さ90cm、斜面の長さ2.7m(幅約90cm)のところから競技作品を静かに転がします。投げたはけません。作品から必ず手を放してください。スタート地点から40cmのところにテープを貼ります。手を触れて良いのは、作品と競技台との接地点が、目印テープに達するまでです。
- ② 斜面を移動した作品が平面の部分を移動し、5m先の半径40cm上の円周状(正六角形の頂点)に置かれたペットボトルに当たり倒していきます。
- ③ 競技場の素材は、斜面・平面ともにバレエダンス用のラバーシートを敷きます。(やや滑りにくい素材です。競技台とラバーシートは昨年度と同じものを使います。)
- (4) 勝敗基準については次の通りです。

- ① 図2のように、空のペットボトルが配置され、倒したペットボトルの容器の大きさに応じて得点が加算します。500mlならば500点とし、6本全て倒せば8000点となります。
- ② 2回競技の合計得点が高い作品の勝ちとします。ただし、1回目で全ボトルを倒した場合、ストライクとして8000点に加えて、再度ペットボトルを配置して2回目の競技ができます。すなわち、最高得点はダブルの16000点となります。最高得点と同点の場合は決勝競技で順位を決めます。
- ③ 競技作品の一部でもステージからフローアへ脱落した場合は記録無しとします。

【図1】 競技場



【図2】 半径40cmのペットボトルサークル(真上からの視点)

ペットボトルの配置と容量(得点)

競技台側

